

	<h1>学校だより</h1> 	平成28年10月31日 横浜市立大曽根小学校 TEL 542-1785 FAX 541-0949
---	---	---

素直な心に確かな力を

がっこうちょう みつはし じゅんこ
学校長 三橋 淳子

学校周辺の木々の葉が少しずつ秋色に変わり、秋の深まりを感じる今日この頃です。前期の終業式には、それまでの子ども達の様子から「一つ一つ、目の前の活動にしっかりと取り組むこと」と「素直であることの大切さ」について話しました。素直であることの大切さを話そうと思ったきっかけは6年生の体育大会に向けての「Let's Dance with YOKOHAMA」の練習です。なかなか動きが合わないために繰り返し練習を重ねるのですが、「そうか。こうすればよいのか。」「違うな、ではこうかな。」と、どのお子さんもとても前向きで、しかも笑顔で取り組んでいます。その6年生の姿から感じたのが、素直に相手の言葉を受け止めて自分の行動に反映させることの大切さです。6年生は10月12日の体育大会当日、日産スタジアムで、気持ちの揃った素晴らしい演技を披露しました。

10月20日には全校たてわり遠足で、みなとみらい地区の臨港パークに行きました。事前に詳しい計画と約束の確認をして当日を迎えましたが、どの班のどの学年のお子さんもそれぞれの役割をしっかりと果たして1日を過ごし、自分なりに立てためあてを達成していたと思います。6年生は全体を、5年生は6年生を助けるとともに全体を見ながら行動し、対する低学年は上級生に声をかけられながら楽しい時間を過ごすことができました。

その中で感心したのは中学年の様子です。一般的に中学年は全体の真ん中で、グループの中心ではない、低学年のことは高学年が見ているから大丈夫、というように、じつと立ち位置が難しいのです。ところが、大曽根小学校の中学年は違います。高学年の様子を見てその姿からしっかり学び、低学年の手助けも当たり前のようにしていました。3年生の振り返りカードを見ると、次のような言葉が並んでいます。「上級生の人に全部任せずに、自分も上級生を手伝って、協力して遠足ができた。」「来年は4年生なので、もっとみんなのサポートをすることも考えたいです。」「めあてをしっかり守ることができました。来年は高学年で、遊びも考えるので、みんなが楽しめるような遊びを考えたいです。」

大曽根小学校の特色ある活動として続いているたてわり活動を通して、子ども達が多くのことを経験し、学び、力を付けていることを感じます。今後、今年度の反省を生かしながら来年度の計画を立てていきますが、大切に繋がっていきたいと思います。

話が前後しますが、後期の始業式に3年生のお子さんが、「後期にがんばりたいこと」を発表しました。年度当初にあいさつをすることを目標にしたけれど前期は恥ずかしくてできなかったので、後期は友達や先生や地域で安全を見守ってくださっている方々に自分からあいさつをしたい、そして、自信を持って発言したい、チャレンジしたい、3年生が終わるころにできることが増えているようにしたいと、堂々と発表しました。

一人ひとりのお子さんがめあてをもって学習や活動に取り組み、その中で確かな力を育てていくことができるよう、今後も教育活動を進めて参ります。ご理解とご支援のほど、よろしく願いいたします。